

「常呂川下流地区水害タイムライン検討会」発足式

平成30年7月19日に北見市常呂町多目的研修センターにおいて、「常呂川下流地区水害タイムライン検討会」発足式及びシナリオ検討会を開催しました。タイムラインは、地域住民の円滑な避難を図るために必要な行動項目やタイミングを関係機関と連携して検討し、災害が発生する前までに安全な避難を行うための事前防災行動計画を策定するものです。常呂川では、堤防や河道掘削などの河川整備が進んできたものの平成28年の出水等、近年の豪雨災害を踏まえると更なる対策が必要であり、河川改修等のハード整備に加え、河川特性や地区の水害特性を踏まえたタイムラインを策定することが防災上、非常に有効です。今後、常呂川下流地区における平成31年度からの試行運用を目指し、関係機関が集まり検討会を実施します。

■ 開催日時 平成30年7月19日(木) 15:30 ~ 16:30(発足式)

16:45 ~ 18:00(シナリオ検討会)

■ 実施場所 北見市常呂町多目的研修センター 1階大ホール(北見市常呂町字土佐2番地1)

■ 実施内容 タイムライン発足式、シナリオ検討会

■ 参加機関 網走開発建設部・網走地方気象台・陸上自衛隊・北海道オホーツク総合振興局・北海道警察・北見市・北見地区消防組合・北見市社会福祉協議会・北見市民生委員児童委員協議会・北見市教育委員会・網走バス株式会社・北海道北見バス株式会社・北海道電力株式会社・東日本電信電話株式会社・常呂町農業協同組合・常呂漁業協同組合・常呂厚生病院・常呂町建設業協会・北見市常呂自治区19町内会(全19機関)

発足式

発足式には各関係機関の代表者など93人が参加しました。開会に先立ち、西日本豪雨災害の犠牲者に黙とうを行った後、事務局から設立趣旨と今後の進め方について説明を行いました。その後は本検討会の座長である東京大学大学院情報学環 松尾客員教授より「水害タイムラインについて」と題して講演をして頂き、タイムラインに策定に向け意識向上を図りました。



開会挨拶
鈴木 亘
網走開発建設部長



機関代表挨拶
辻 直孝
北見市長



座長講演
松尾 一郎
東京大学大学院
情報学環客員教授



閉会挨拶
藤田 二
オホーツク
総合振興局長

常呂川下流地区水害タイムライン検討会発足式



発足式の様子

シナリオ検討会

本検討会の座長である松尾客員教授、アドバイザーである北見工業大学 渡邊副学長、日本赤十字北海道看護大学 根本災害対策教育センター長より挨拶を頂いたのち、事務局より水害タイムラインシナリオ(素案)について説明を行い、意見交換を行いました。意見交換ではシナリオにおける雨の降り方に関する考え方や浸水エリアのとらえ方、洪水時の避難のあり方などについて様々な質問や意見が出され、活発な議論が行われました。その後、網走地方気象台 神防災管理官より防災気象情報に関して説明して頂きました。最後に、網走地方気象台 佐藤台長から「タイムラインの検討を通じ、『顔の見える関係』を構築し、関係機関が連携した初動体制構築の円滑化に繋がるものと期待している。」との挨拶があり、シナリオ検討会を閉会しました。



アドバイザー挨拶
渡邊 康玄
北見工業大学
副学長



アドバイザー挨拶
根本 昌宏
日本赤十字
北海道看護大学
災害対策教育
センター長



防災気象情報
に関する講話
神 利昭
網走地方気象台
防災管理官



閉会挨拶
佐藤 尚志
網走地方気象台
台長



検討会の様子